

# 6月定例議会 一般質問予定

## 上野公悦議員

(15番目 6月15日(木)午後の見込み)

1. 県「地震被害想定調査報告書」(2022年3月)を踏まえた対応と耐震改修などの促進について  
(1) 新潟県では、県内で発生する可能性がある9つの大地震を想定し、建物被害や人的被害など、様々な角度から起こりうる被害予想を科学的な知見に基づいて、地震被害想定調査報告書として発表した。市ではこの報告を受け、令和5年3月に上越市耐震改修促進計画(第2期)を策定したが、いつ起こるかわからない大地震から市民の安全・安心を守るために、「地震被害想定調査報告書」及び「上越市耐震促進計画(第2期)」から見えてきた課題をどのように整理したか。さらにその課題解決のための施策は緊急性が求められるが、どのようなスケジュールで進めていくのか。  
(2) 地震被害想定調査報告書及び上越市耐震改修促進計画(第2期)等に基づいた地震対策ハンドブックを作成し、全戸に配布するなど、市民意識の啓発を図るべきと考えるがどうか。  
(3) 当市の耐震診断補助の対象は、基本的に昭和56年以前の旧耐震基準の木造住宅に限られているが、耐震改修の促進を図るために、新耐震基準のうち平成12年6月までに建築された木造住宅も対象にすべきと思うがどうか。また、耐震診断結果が上部構造評点1.0未満の家屋も対象に、耐震補強設計や耐震改修の補助を行ってはどうか。  
(4) 耐震設計や耐震改修の補助を当市では行っていない。そこで県内現行最高額である、設計15万5千円、全体改修150万円、部分改修100万円での制度創設、または、この補助額に近付けた額での制度

創設をするべきだがどうか。

## 2. 消費・需要喚起の促進について

(1) 異常な物価高騰の中、電気料金が引き上げられるなど、市民の暮らしと市内小規模事業者の生業は非常に厳しい。低所得層などへの暮らし、子育て支援や市内事業者への経営支援など行われているが、市内経済活性化に資する「プレミアム付商品券発行支援事業」等、消費・需要喚起に繋がる施策が必要だが考えを聞きたい。

## 3. 大潟野外活動施設における維持整備について

(1) 大潟区の四ツ屋浜に立地する大潟野外活動施設は、社会教育施設というだけではなく、大潟区の観光資源としても大きな役割を果たしている。トリム施設を含めた施設の維持整備を求めるがどうか。

## 平良木哲也議員

(18番目 6月16日(金)午後の見込み)

1. 次期以降の介護保険事業計画作成に向けた介護保険制度の課題について  
(1) 来年度から始まる第9期介護保険事業計画、あるいは、その後の第10期介護保険事業計画の作成に向け、国が検討を進めている介護保険制度の各課題について、以下の点を明らかにされたい。  
ア 各項目の動向について市はどう把握しているか。  
イ それぞれの項目が、市民にどのような影響を及ぼすと考えるか。  
ウ 市民に対して万全な介護サービスを提供するため、市はどのような対策を講じる考えか。  
エ だれもが安心できる制度にするため、①介護サービスを取り上げる改悪をやめ、保険給付を抜本的に充実する、②国による利用料・保険料の減

6月定例議会の一般質問は、6月13～16日に行われます。32人中20人が発言通告を提出しました。日本共産党議員の予定日と質問内容は次の通

免制度をつくる、③国費の投入や介護報酬の増額で介護労働者の処遇改善を行う、④特養などの介護施設を国の責任で大幅に増設する、⑤これらの改革を保険料・利用料の負担増に跳ね返らせず、持続可能な制度にするため、国庫負担割合を緊急に10%引き上げ、将来的には国庫負担を50%(公費負担75%)にすることが必要だ。以上のことを国に求めるとともに、一般財源からの支出など、市でできることを今こそすべきではないか。

## 2. 市内の中小河川の管理について

- (1) 関川等に合流する中小河川の中には、河床の土砂堆積や、その土砂に樹木が生育したりするなどして、流れに支障を来しかねない状況になっている箇所があると指摘されている。市としてどのように把握しているか。  
(2) これからの季節の大雨の際に、災害に繋がりにくくない土砂堆積や繁茂の状況となった場合、市としてはどのような対策を講じる考えか。  
(3) 河川行政を主に管轄する県と国に対して、働きかけはどのように行っているか。

## 橋爪法一議員

(19番目 6月16日(金)午後の見込み)

## 1. 防犯カメラの設置と利用について

- (1) 市の施設における防犯カメラの設置と管理はどうなっているか。  
2. 原子力発電について  
(1) G X脱炭素電源法が成立したが、柏崎刈羽原子力発電所から30km圏内の自治体の長として、どう対応していくか。  
(2) 新潟県は「原発をめぐる3つの検証」を自ら取り

しかし、もしも他人の情報が登録されていたり、自分の情報が他人の手に渡ったりしたら…と考えると、心配はつきません。

また、利用にあたってはカードを機械に読み取られた後、4桁の暗証番号を入力しますが、暗証番号を3回間違えると利用できなくなることも心配です。暗証番号を間違えてロックされると、市役所の窓口での手続きが必要になりますので、「かえって面倒」という指摘もありま

りです。

なお、質問予定日は変更される可能性があります。事前にホームページなどでご確認ください。

まとめるとしているが、市長の見解を聞きたい。

## 3. 新型コロナウイルス感染症対策について

- (1) 5類移行に伴う課題についてどう整理しているか。  
(2) 医療体制について、以下の3点を聞きたい。  
ア 市内全ての医療機関において、新型コロナウイルス感染(疑いを含む)による外来受診、入院の受け入れが可能となったのか。  
イ 医療機関に対する財政支援の大幅削減で医療体制のひっ迫が懸念される。医療機関への財政支援が必要なのではないか。  
ウ 新型コロナウイルス感染症患者が増加した場合、一般医療との両立が困難になるのではないか。新潟県地域医療構想において、病床削減方針が示されていると認識しているが、その方針の見直しが必要ではないか。  
(3) 介護施設での課題について、以下の2点を聞きたい。  
ア 保険医協会などの調査では、介護施設における陽性者の8割以上が施設内療養だったとのことであるが、当市の実態はどうか。  
イ 介護施設でのクラスター対策は引き続き重要と考える。感染対策の資機材整備への支援はどうなるか。  
(4) 患者対応について、原則無料だった検査、外来、入院などの費用が自己負担の方向へと動き出した。費用負担によって受診抑制が起これぬように財政支援などが必要ではないか。

す。「忘れないように」と思ってカードに暗証番号をメモしては危険です。)

住民票や印鑑証明書がちょくちょく必要だという人にとっては、コンビニ交付は便利なサービスですが、そのために大事な個人情報につながるカードを心配しながら持つことは、多くの人にとってメリットがあるとは言えないのではないのでしょうか。

はじめから持たないのが一番安全とも言えます。

## コンビニ交付サービスを再開しましたが...

上越市では、マイナンバーカード(個人番号



No.791 2023年6月11日

連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)  
絡 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)  
先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))

カード)を利用して、各種証明書をコンビニエンスストアのマルチコピー機で交付するサービスを行っています。

マイナンバーカードによるサービスでは、全国的に不具合や誤交付が発生していることから、上越市でも先月末には取扱業者による点検のため、3日間サービスを停止しましたが、「適正に処理されることが確認された」として、6月1日から再開しました。